

第6回

18歳選挙権と 教育について語る会

報告

政治的リテラシーを どのように育てるか？

～ 英国シティズンシップ教育実践を中心に ～

滋賀大学教育学部 准教授（社会科教育学）

川口 広美 さん

■ 川口さんからのメッセージ

「政治とは何か？一般的には、「権力を使って集団を動かす」「支配」のような印象を持たれている。実際、これまでの日本の公民科や社会科の公民的分野は、いかに国や地域を治めているか、その制度や仕組みを学ぶことが中心となってきた。これに対し、より能動的な市民として重要な資質を育成すべきとのことで、「主権者教育」の重要性が注目され、各地で多様な実践が行われている。こうした多様な主権者教育の1つのモデルとして英国（主にイングランド）のシティズンシップ教育、中でも政治的リテラシーの観点に注目が集まっている。英国では、政治的リテラシーとは、「多様な利害や価値観の対立の中で何が争点であるかを知ること」と広く捉えており、論争問題を扱った授業を積極的に進めている。これを学ぶことは、多様な価値や考え方がある時代において、「強制」によって支配するのではなく、「調停」させる社会の実現において重要だと考えられている。

当日は、3つの問い—なぜ政治的リテラシーの教育が重要であるのか？ それはどのような方法で行われているのか？ こうした海外の実践から学べる点は何か？—を軸にして、発表を進めていきたい」

11月19日

土

18:00～20:00

会場

教文会館

（大津市朝日が丘 1-11-3）

☎ 077(522)4965 JR大津駅から徒歩5分

主催 滋賀県民主教育研究所・中等教育部会
全国高校生活指導研究協議会（滋賀高生研）